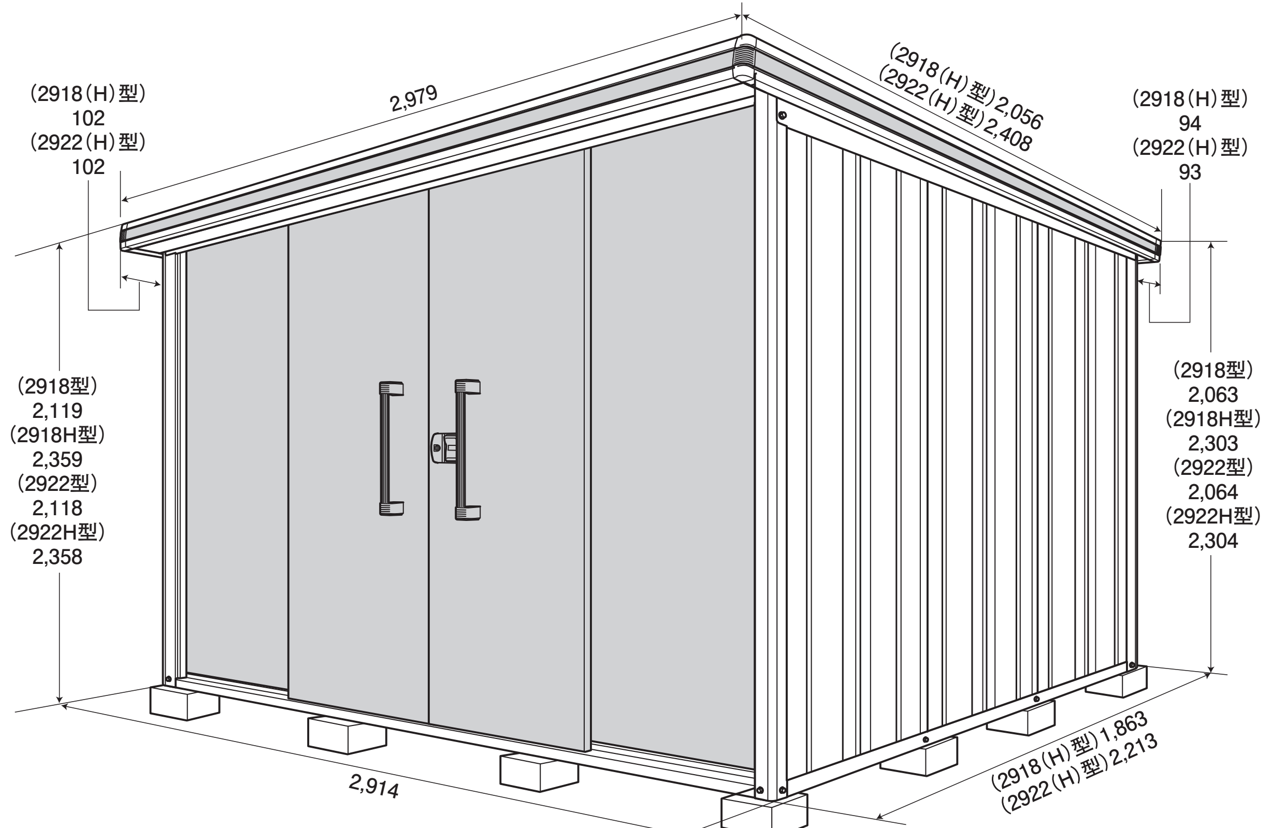
ヨド物置 エルモ
組立説明書 LMD-2918型・2918H型・2922型・2922H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「2922」の組立手順を基本に説明しています。


2,979
(2918(H)型)2,056
(2922(H)型)2,408
(2918(H)型) 102
(2922(H)型) 102
(2918(H)型) 94
(2922(H)型) 93
(2918型) 2,119
(2918H型) 2,359
(2922型) 2,118
(2922H型) 2,358
(2918型) 2,063
(2918H型) 2,303
(2922型) 2,064
(2922H型) 2,304
2,914
(2918(H)型)1,863
(2922(H)型)2,213

(寸法の単位はmm)

●設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- ●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機　種		2918 型	2922 型	2918H 型	2922H 型
部　品		LM5-0163	LM5-0163	LM5-0163	LM5-0163
枠	上枠前後	LM5-0207	LM5-0207	LM5-0207	LM5-0207
	下枠前後	LM5-0257	LM5-0257	LM5-0257	LM5-0257
	上枠左右	LM5-0304	LM5-0305	LM5-0304	LM5-0305
	下枠左右	LM5-0354	LM5-0355	LM5-0354	LM5-0355
柱		LM5-0413	LM5-0413	LM5-0414	LM5-0414
間柱	一般・積雪	LM5-1403	LM5-1403	LM5-1406	LM5-1406
		LM5-1455	LM5-1457	LM5-1456	LM5-1458
	豪雪	LM5-1433	LM5-1433	LM5-1436	LM5-1436
		LM5-1445	LM5-1447	LM5-1446	LM5-1448
鼻隠し		LM5-1107	LM5-1107	LM5-1107	LM5-1107
補強	一般型	LM5-0551	LM5-0551	LM5-0551	LM5-0551
		LM5-0552	LM5-0552	LM5-0552	LM5-0552
	積雪型	LM5-3551	LM5-3551	LM5-3551	LM5-3551
		LM5-3552	LM5-3552	LM5-3552	LM5-3552
		LM5-3577	LM5-3577	LM5-3577	LM5-3577
	豪雪型	LM5-3554	LM5-3554	LM5-3554	LM5-3554
		LM5-3555	LM5-3555	LM5-3555	LM5-3555
		LM5-3577	LM5-3577	LM5-3577	LM5-3577

機　種		2918 型	2922 型	2918H 型	2922H 型
床		LM5-0717	LM5-0722	LM5-0717	LM5-0722
		LM5-0717	LM5-0722	LM5-0717	LM5-0722
屋根		LM5-0931	LM5-0941	LM5-0931	LM5-0941
		LM5-0931	LM5-0941	LM5-0931	LM5-0941
壁		LM5-1004	LM5-1003	LM5-1014	LM5-1013
		LM5-1004	LM5-1003	LM5-1014	LM5-1013
		LM5-1022	LM5-1004	LM5-1032	LM5-1014
袖壁		LM5-1057	LM5-1057	LM5-1067	LM5-1067
扉		LM5-1707	LM5-1707	LM5-1717	LM5-1717
棚板		LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
合計	一般型	21	21	21	21
	積雪型	22	22	22	22
	豪雪型	22	22	22	22

●梱包内容表

●部品

LM5-0163　2918(H)・2922(H)

部材名	数量
ELD 間柱固定金具	4
ボルト（スプリングワッシャー付）M6×15	9（1）
EL 上枠前連結金具	1
床押え金具③	1
屋根止結金具 KN	3[3]
T 型レンチ	1
ELD アンカープレート（L）	4
ELD 屋根隙間隠し A	3
ELD 屋根隙間隠し B	1
ボルトM 6 × 15（白）	219[8]〈5〉
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5 年	1

※数量の（ ）内は一般型及び積雪型、[ ] 内は一般型、〈 〉内は積雪型の予備数を表しています。

●上枠前後

LM5-0207　2918(H)・2922(H)

部材名	数量
ELD 上枠前 OD-A4.0	1
ELD 上枠後 A4.0	1

●下枠前後梱包

LM5-0257　2918(H)・2922(H)

部材名	数量
ELD 下枠前 OD-A4.0	1
ELD 下枠後 A4.0	1
ELD 床押え A4.0	2

●上枠左右

LM5-0304　2918(H)

部材名	数量
ELD 上枠左 A2.5	1
ELD 上枠右 A2.5	1

LM5-0305　2922(H)

ELD 上枠左 A3.0	1
ELD 上枠右 A3.0	1

●下枠左右梱包

LM5-0354　2918(H)

部材名	数量
ELD 下枠側 A2.5（左）	1
ELD 下枠側 A2.5（右）	1

LM5-0355　2922(H)

ELD 下枠側 A3.0（左）	1
ELD 下枠側 A3.0（右）	1

●柱

LM5-0413　2918・2922

部材名	数量
ELD 柱前 OD-右 L	1
ELD 柱前 OD-左 L	1
ELD 柱後 L	2
ELD 戸当り（M）L	2

LM5-0414　2918H・2922H

ELD 柱前 OD-右 H	1
ELD 柱前 OD-左 H	1
ELD 柱後 H	2
ELD 戸当り（M）H	2

●補強

LM5-0551　2918(H)・2922(H)

部材名	数量
ELD もや C-A4.0 DLN	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-0552　2918(H)・2922(H)

ELD もや C-A4.0	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3551　2918(H)・2922(H)

ELD もや G-A4.0SW　DLS	1
ELD もや D-A4.0S	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3552　2918(H)・2922(H)

ELD もや D-A4.0S	1
ELD もや G-A4.0SW	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3554　2918(H)・2922(H)

ELD もや I-A4.0UW　DLU	1
ELD もや H-A4.0U	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3555　2918(H)・2922(H)

ELD もや H-A4.0U	1
ELD もや I-A4.0UW	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3577　2918(H)・2922(H)

ELD 上枠補強 OD-A	1

●床

LM5-0717　2918(H)

部材名	数量
ELD　床板　A2.5	4

LM5-0722　2922(H)

ELD　床板　A3.0	4

●屋根

LM5-0931　2918(H)

部材名	数量
ELD 屋根（70）A2.5	2

LM5-0941　2922(H)

ELD 屋根（70）A3.0	2

●壁

LM5-1003　2922

部材名	数量
ELD　壁パネル　L-A	3

LM5-1004　2918・2922

ELD　壁パネル　L-A	4

LM5-1013　2922H

ELD　壁パネル　H-A	3

LM5-1014　2918H・2922H

ELD　壁パネル　H-A	4

LM 5-1022　2918

ELD 壁パネル L-F	2

LM5-1032　2918H

ELD　壁パネル　H-F	2

●袖壁

LM5-1057　2918・2922

部材名	数量
ELD 袖壁　L-A	2

LM5-1067　2918H・2922H

ELD 袖壁　H-A	2

●鼻隠し

LM5-1107　2918(H)・2922(H)

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A4.0	1
ELD 鼻隠し後 A4.0	1

●間柱

LM5-1403　2918・2922

部材名	数量
ELD 間柱 前 L	2
ELD 間柱 後 L	3

LM5-1406　2918H・2922H

ELD 間柱 前 H	2
ELD 間柱 後 H	3

LM5-1455　2918

ELD 間柱 側前 2.5L	2
ELD 間柱 側後 2.5L	2

LM5-1456　2918H

ELD 間柱 側前 2.5H	2
ELD 間柱 側後 2.5H	2

LM5-1457　2922

ELD 間柱 側前 3.0L	2
ELD 間柱 側後 3.0L	2

LM5-1458　2922H

ELD 間柱 側前 3.0H	2
ELD 間柱 側後 3.0H	2

LM5-1433　2918・2922

ELD 間柱 前 U L	2
ELD 間柱 後 L	3

LM5-1436　2918H・2922H

ELD 間柱 前 U H	2
ELD 間柱 後 H	3

LM5-1445　2918

ELD 間柱 側前 U 2.5L	2
ELD 間柱 側後 U 2.5L	2

LM5-1447　2922

ELD 間柱 側前 U 3.0L	2
ELD 間柱 側後 U 3.0L	2

LM5-1446　2918H

ELD 間柱 側前 U 2.5H	2
ELD 間柱 側後 U 2.5H	2

LM5-1448　2922H

ELD 間柱 側前 U 3.0H	2
ELD 間柱 側後 U 3.0H	2

●扉

LM5-1707　2918・2922

部材名	数量
ELD 扉右 L-A	1
ELD 扉左 L-A	1
ELD 取手	2
ELD 扉支持材 OD-A	1
ELD 戸車上昇防止プレート OD	4
ボルトM 6 × 15（白）	6

LM5-1717　2918H・2922H

ELD 扉右 H-A	1
ELD 扉左 H-A	1
ELD 取手	2
ELD 扉支持材 OD-A	1
ELD 戸車上昇防止プレート OD	4
ボルトM 6 × 15（白）	6

●棚板

LM5-1903　2918(H)・2922(H)

部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 N 右	3
ELC 棚受 N 左	3

○部材名称にはA2.5、A3.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

1. まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立してしてください。
3. 部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
   ※安全のため必ず手袋を着用してください。
4. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5. 部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

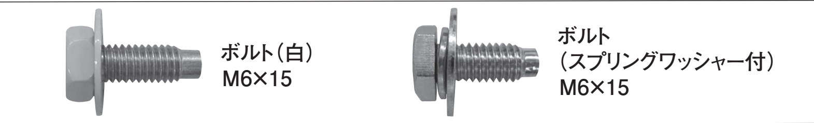
●基礎工事に必要なもの（市販品をご準備ください。）

- ・コンクリートブロック 16ヶ（幅19㎝×長さ19㎝×厚さ10㎝が適当です。）
- ・コンクリート（サイズは下図の穴サイズをご参照ください。）※土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー（M12×70以上）4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの（事前にご準備ください。）

・軍手　・水準器　・脚立

●使用ビス一覧


ボルト（白）
M6×15
ボルト
（スプリングワッシャー付）
M6×15

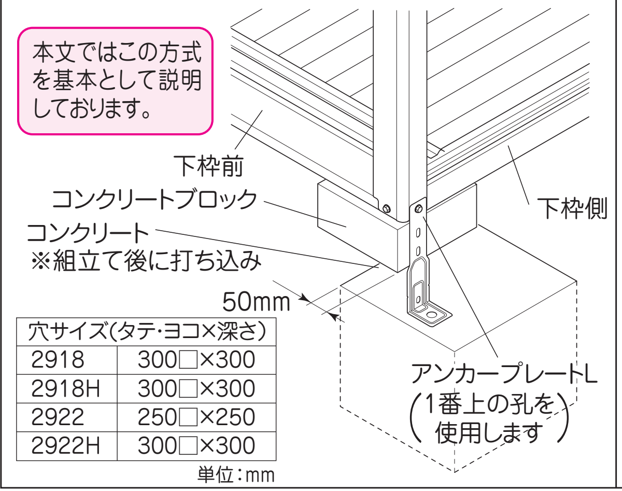
●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート（L）を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り（下図参照）、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート（L）を固定します。

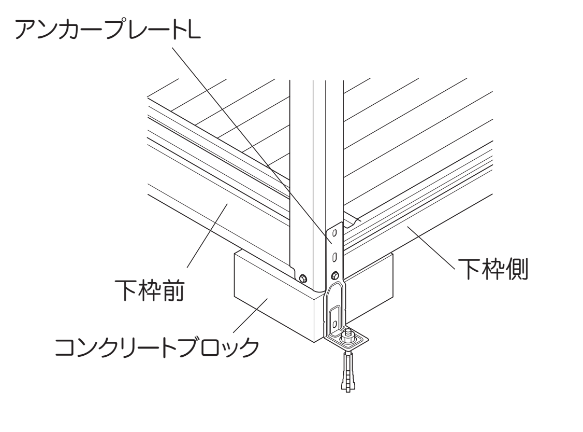

本文ではこの方式を基本として説明しております。
下枠前
コンクリートブロック
コンクリート
※組立て後に打ち込み
50mm
下枠側
アンカープレートL
（1番上の孔を使用します）

穴サイズ(タテ・ヨコ×深さ)	
2918	300□×300
2918H	300□×300
2922	250□×250
2922H	300□×300

単位：mm

《コンクリート床の上に設置する場合》

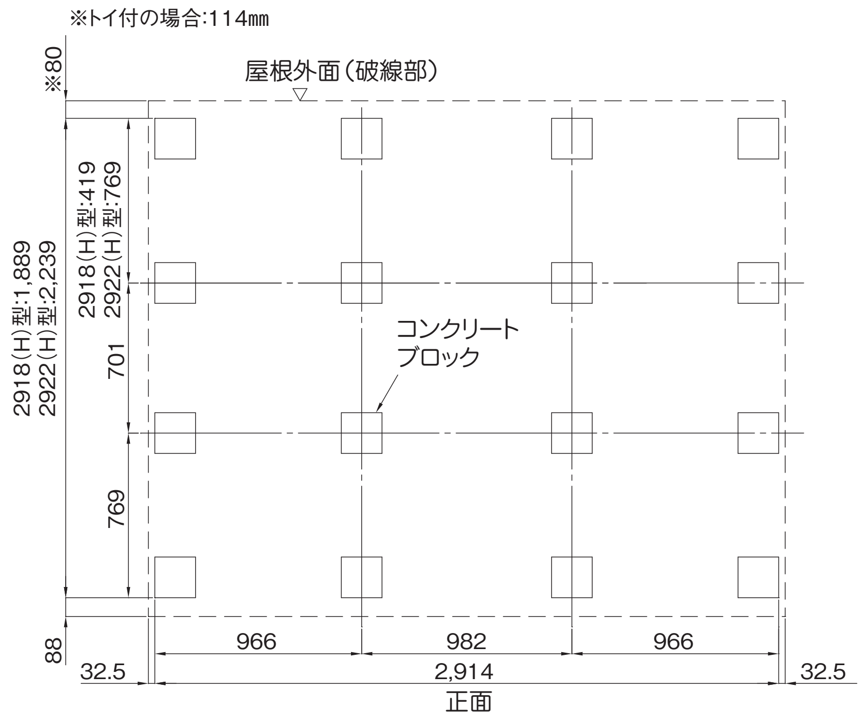
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。


アンカープレートL
下枠前
下枠側
コンクリートブロック

⚠注意　強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

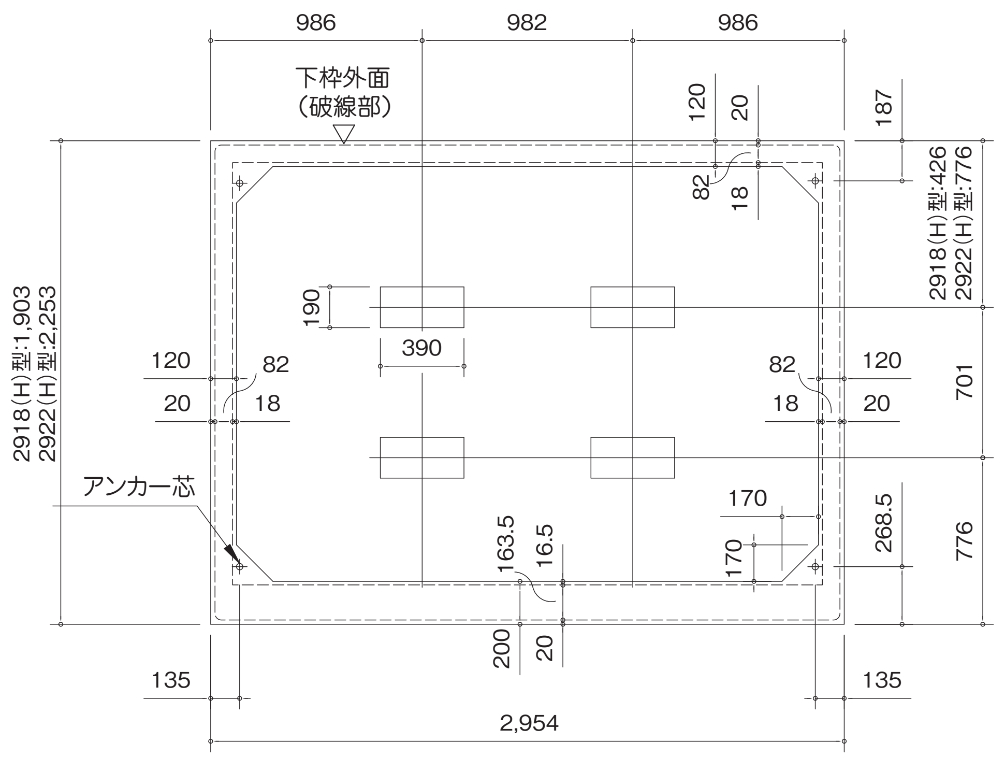
①設置場所の地ならし、地固めを行います。
②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。（数字の単位は㎜）


※トイ付の場合:114㎜
※80
屋根外面（破線部）
2918(H)型:419
2922(H)型:769
2918(H)型:1,889
2922(H)型:2,239
701
769
88
コンクリートブロック
966
982
966
32.5
2,914
32.5
正面

注意 基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。

注意 内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。内アンカーセット（オプション）の組立説明書を先にお読みください。

《**布基礎の場合**》（詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。）

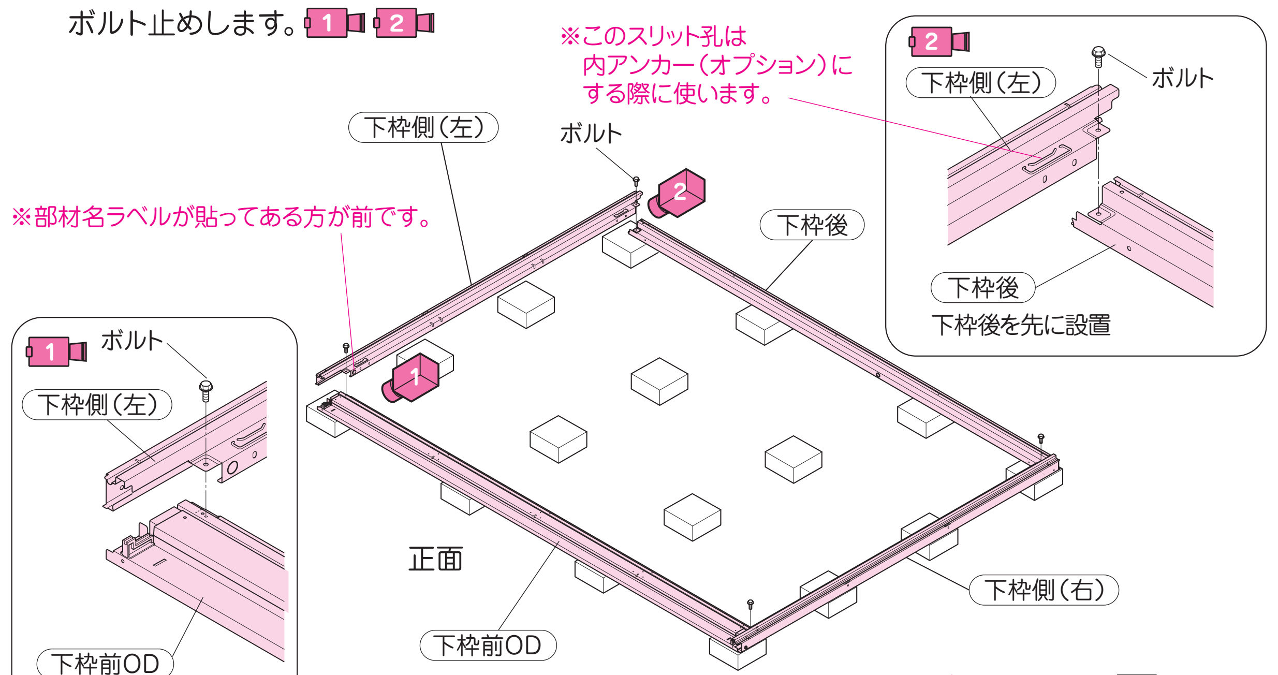

986
982
986
下枠外面
（破線部）
120
20
187
82
18
2918(H)型:426
2922(H)型:776
190
390
120
20
82
18
82
18
120
20
701
2918(H)型:1,903
2922(H)型:2,253
アンカー芯
170
170
268.5
776
163.5
16.5
200
20
135
135
2,954
正面

注意 布基礎にする場合は内アンカーセット（オプション 梱包番号: LM5-6741）が別途必要です。

2 下枠の組立

使用梱包	共通	LM5-0257
	奥行き18	LM5-0354
	奥行き22	LM5-0355
使用ボルト数	4本	

①（下枠前OD）・（下枠後）をコンクリートブロックの上に設置します。
②（下枠側）を（下枠前OD）・（下枠後）の上から設置して4隅をボルト止めします。 1 2

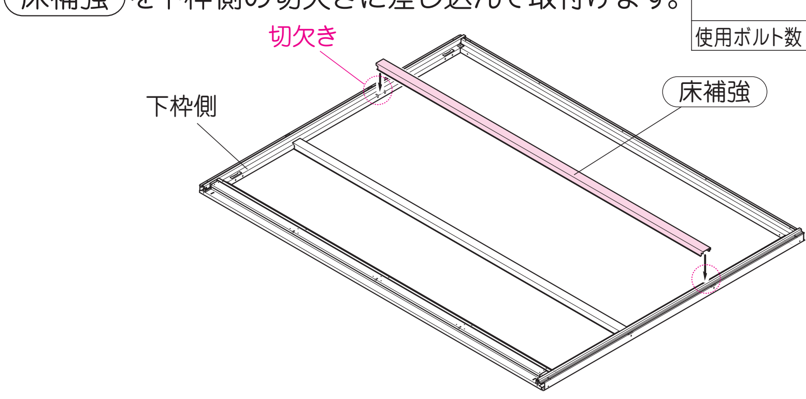

※このスリット孔は内アンカー（オプション）にする際に使います。
※部材名ラベルが貼ってある方が前です。
下枠側（左）
ボルト
下枠後
下枠側（右）
下枠前OD
正面
1
ボルト
下枠側（左）
下枠前OD
下枠前ODを先に設置
2
下枠側（左）
ボルト
下枠後
下枠後を先に設置

拡大図は全体図のカメラ ■ の視点から見た図になっています。

3 床の設置

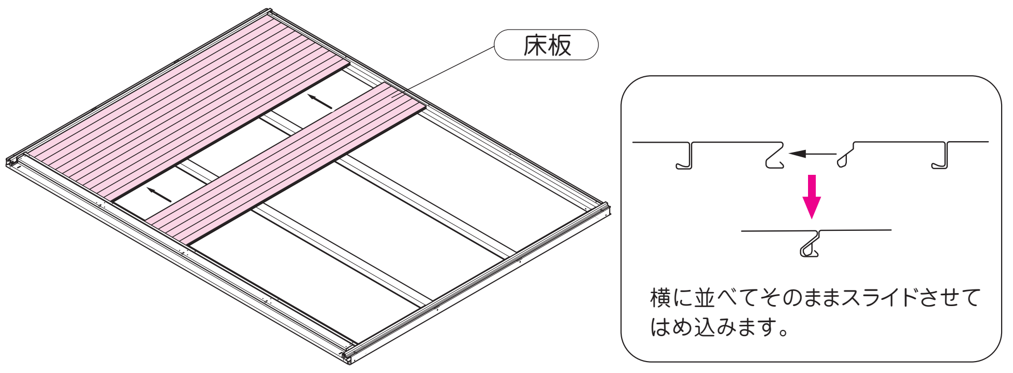
使用梱包	一般型共通	LM5-0551	LM5-0552
	積雪型共通	LM5-3551	LM5-3552
	奥行き18	LM5-0717	
	奥行き22	LM5-0722	
使用ボルト数	0本		

①（床補強）を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



注意 内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット（オプション）の説明書をご参照ください。

②（床板）を左端、もしくは右端（どちらからでも構いません。）から順番に並べていきます。



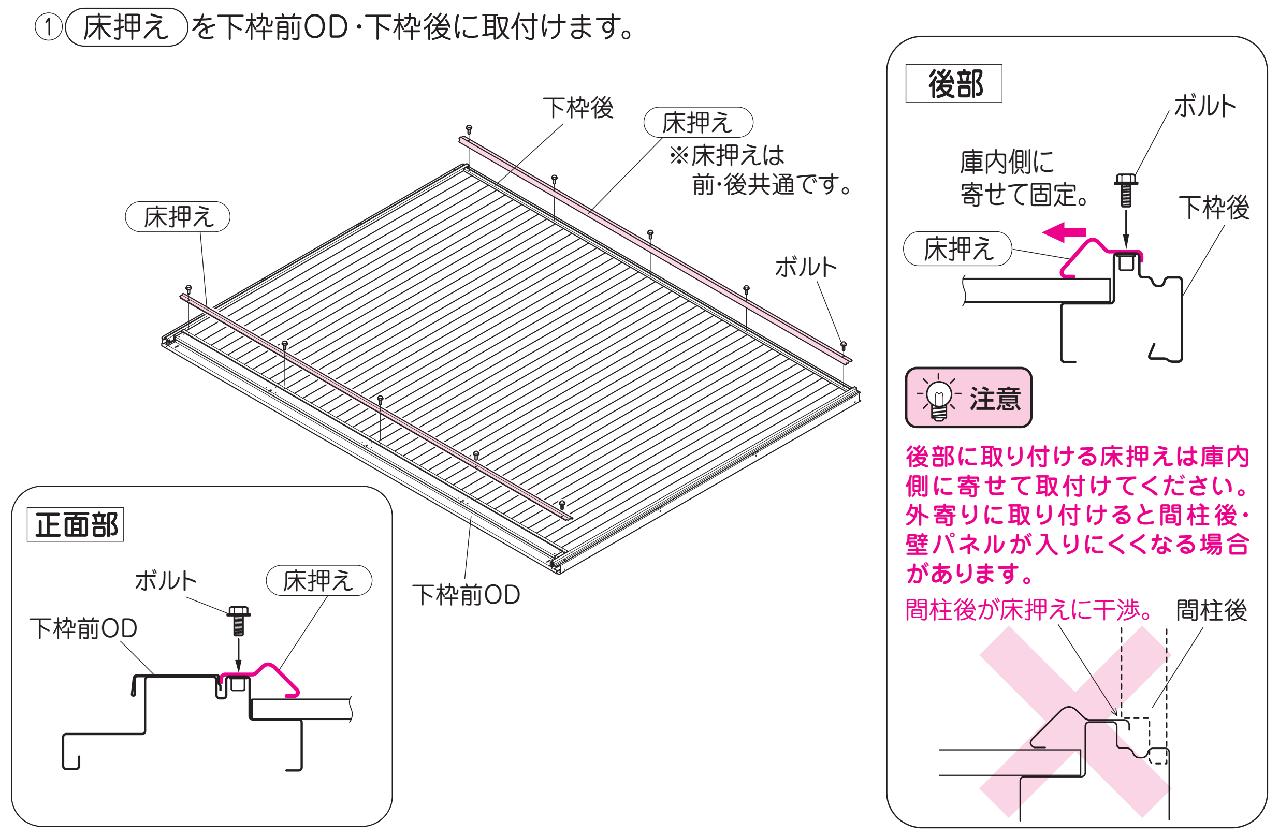
横に並べてそのままスライドさせてはめ込みます。

注意 床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

4 床押えの取付け

使用梱包	共通	LM5-0257
使用ボルト数	10本	

①（床押え）を下枠前OD・下枠後に取付けます。


下枠後
床押え
※床押えは前・後共通です。
床押え
ボルト
下枠前OD
正面部
ボルト
床押え
下枠前OD
後部
ボルト
庫内側に寄せて固定。
床押え
下枠後
間柱後が床押えに干渉。
間柱後

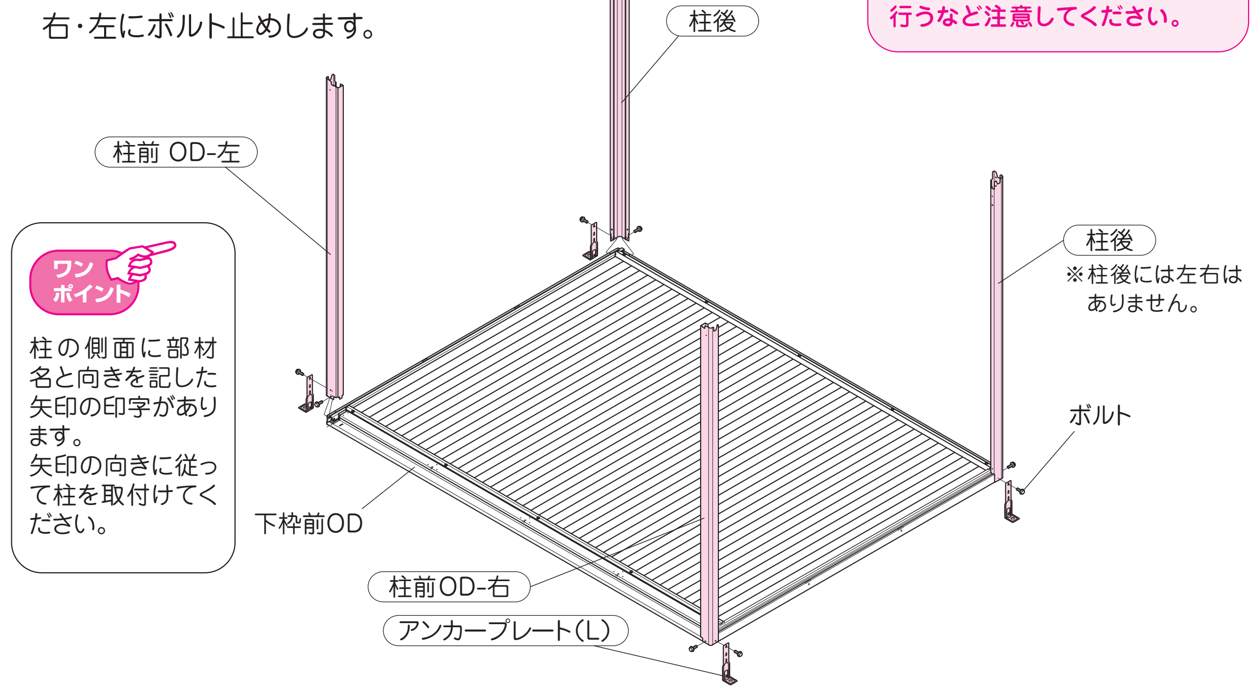
注意 後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

5 柱の取付け

使用梱包	共通	LM5-0163
	Lタイプ	LM5-0413
	Hタイプ	LM5-0414
使用ボルト数	8本	

①（柱前OD）・（柱後）を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート（L）を下枠側右・左にボルト止めします。

⚠注意
柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

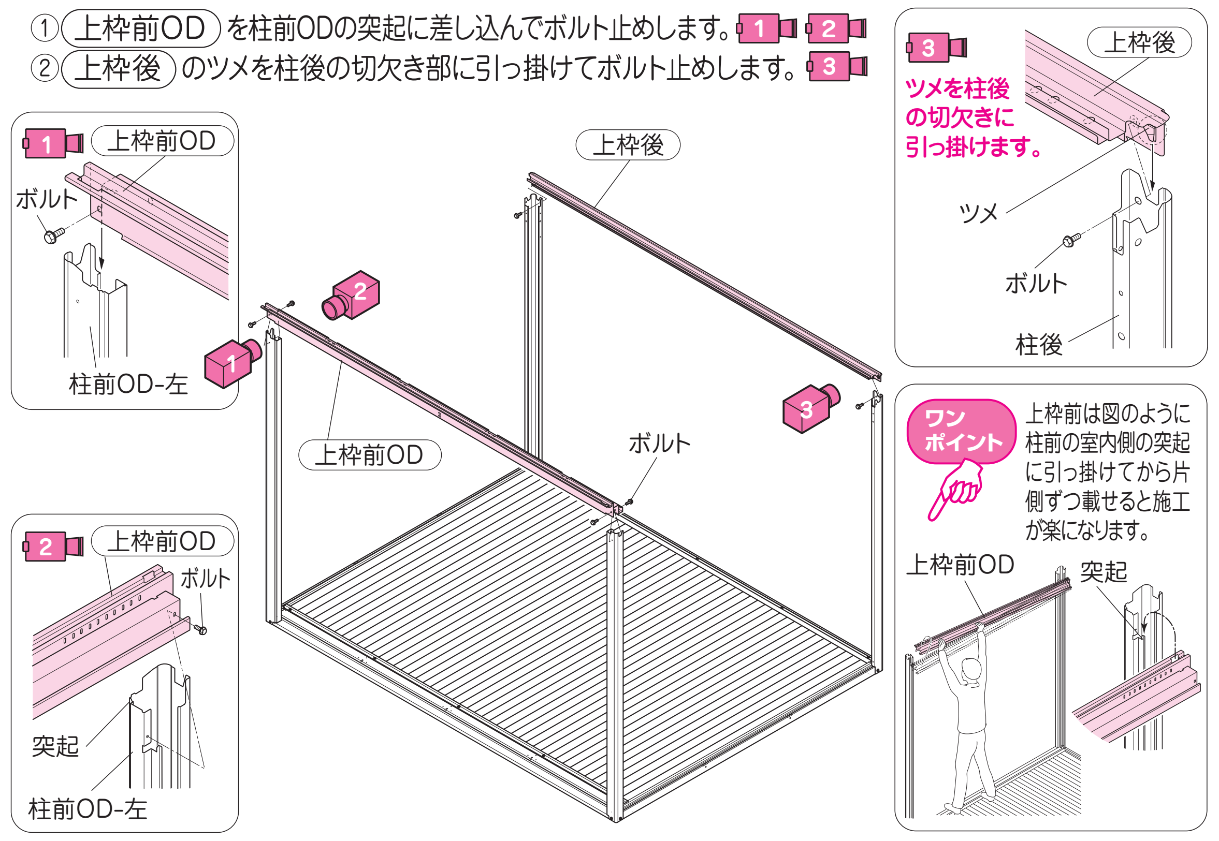

柱後
柱前 OD-左
柱後
※柱後には左右はありません。
ボルト
下枠前OD
柱前OD-右
アンカープレート（L）

ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

6 上枠前後の取付け

使用梱包	共通	LM5-0207
使用ボルト数	6本	

①（上枠前OD）を柱前ODの突起に差し込んでボルト止めします。 1 2
②（上枠後）のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。 3

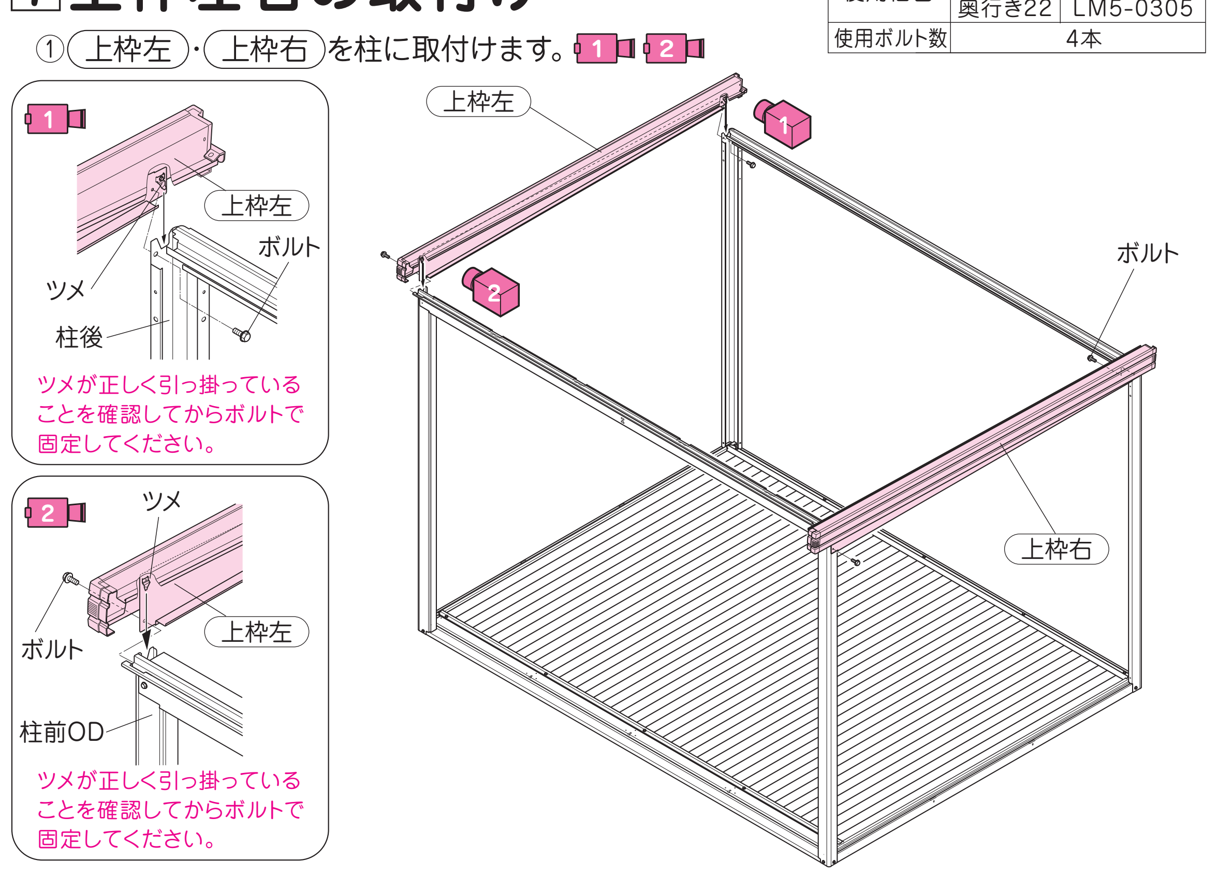

1
上枠前OD
ボルト
柱前OD-左
2
上枠前OD
ボルト
突起
柱前OD-左
上枠後
上枠前OD
ボルト
3
ツメを柱後の切欠きに引っ掛けます。
上枠後
ツメ
ボルト
柱後
上枠前OD
突起

ワンポイント 上枠前は図のように柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

7 上枠左右の取付け

使用梱包	奥行き18	LM5-0304
	奥行き22	LM5-0305
使用ボルト数	4本	

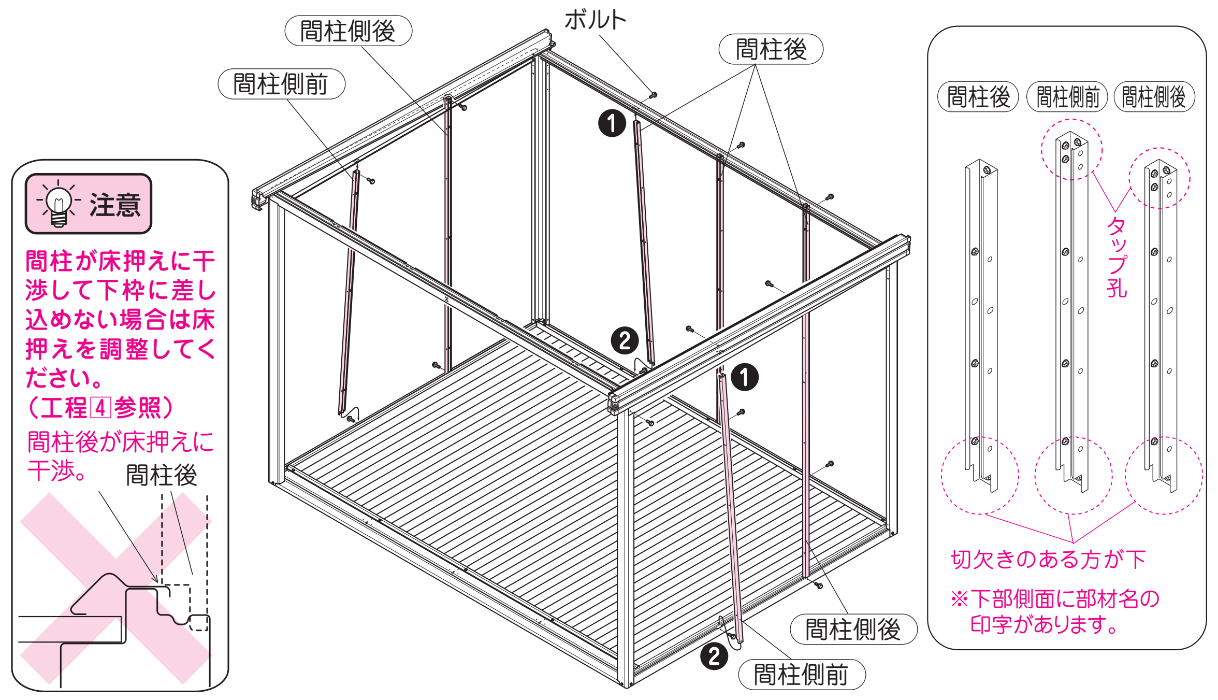
①（上枠左）・（上枠右）を柱に取付けます。 1 2


1
上枠左
ツメ
ボルト
柱後
ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。
2
ツメ
ボルト
上枠左
柱前OD
ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。
上枠左
ボルト
上枠右

8 間柱側・後の取付け

使用梱包	機種	一般型・積雪型		豪雪型	
	2918	LM5-1455	LM5-1403	LM5-1445	LM5-1433
	2922	LM5-1457		LM5-1447	
	2918H	LM5-1456	LM5-1406	LM5-1446	LM5-1436
	2922H	LM5-1458		LM5-1448	
使用ボルト数	14本				

①（間柱後）の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②（間柱側）も同様にして取付けます。


間柱側後
間柱側前
ボルト
間柱後
①
②
①
②
間柱側後
間柱側前
間柱後
間柱側前
間柱側後
タップ孔
切欠きのある方が下
※下部側面に部材名の印字があります。
間柱後が床押えに干渉。
間柱後

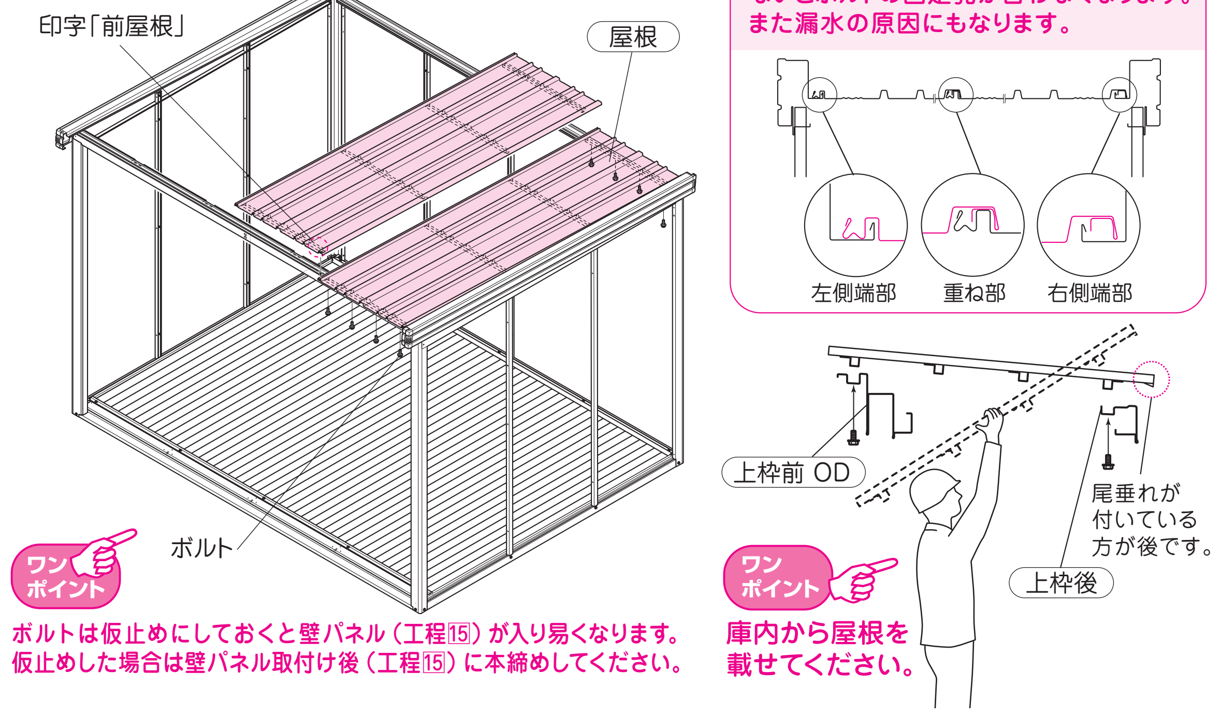
注意 間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。（工程4参照）

9 屋根の取付け

使用梱包	奥行き18	LM5-0931
	奥行き22	LM5-0941
使用ボルト数	32本	

①（屋根）を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。

⚠注意
屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。


印字「前屋根」
屋根
ボルト
左側端部
重ね部
右側端部
上枠前 OD
尾垂れが付いている方が後です。
上枠後

ワンポイント ボルトは仮止めにしておくと壁パネル（工程15）が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後（工程15）に本締めしてください。

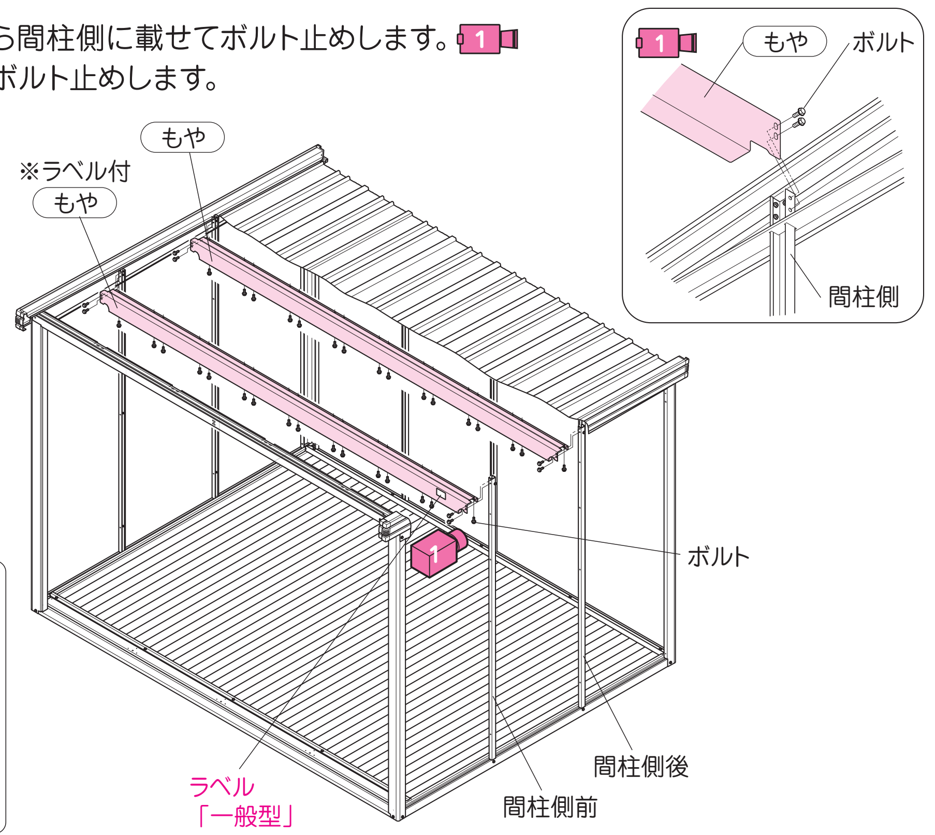
ワンポイント 庫内から屋根を載せてください。

10-A もやの取付け ●一般型の場合

使用梱包	共通	LM5-0551	LM5-0552
使用ボルト数	40本		

①（もや）を正面から間柱側に載せてボルト止めします。

②（もや）と屋根をボルト止めします。


もや
ボルト
間柱側
もや
※ラベル付
もや
ボルト
間柱側後
間柱側前
ラベル
「一般型」

ワンポイント
屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

注意
（もや）は2本共同じ形状です。一番前には「一般型」のラベルが貼りつけてある（もや）を取り付けてください。

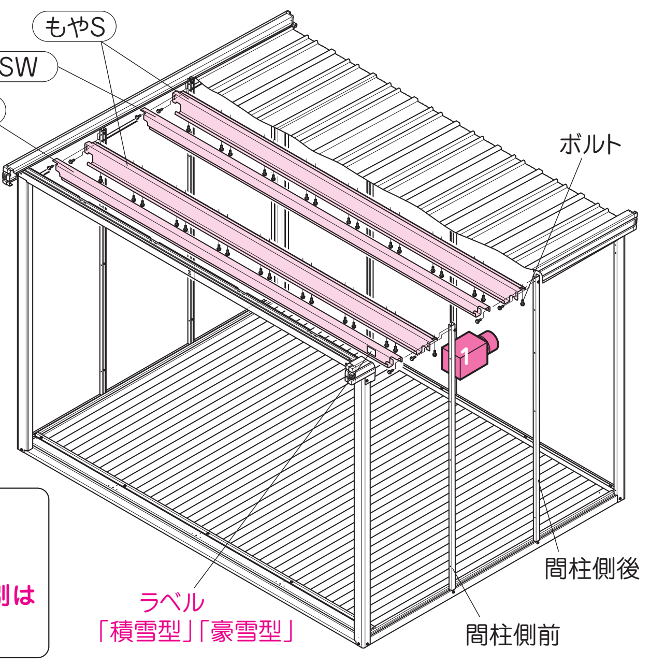
10-B もやの取付け ●積雪（豪雪）型の場合

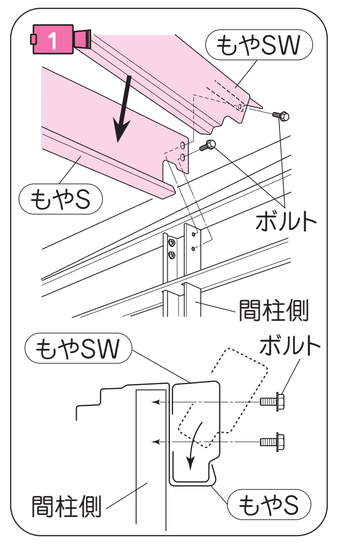
使用梱包	積雪型	LM5-3551	LM5-3552
	豪雪型	LM5-3554	LM5-3555
使用ボルト数	40本		

①（もやS）を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。

②正面から（もやSW）を（もやS）に落としこみボルト止めします。

③（もやS）と屋根をボルト止めします。


もやS
もやSW
もやSW
※ラベル付
ボルト
間柱側後
間柱側前
ラベル
「積雪型」「豪雪型」


もやSW
もやS
ボルト
間柱側
もやSW
ボルト
間柱側
もやS

ワンポイント
屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

注意
もやSに前・後の区別はありません。

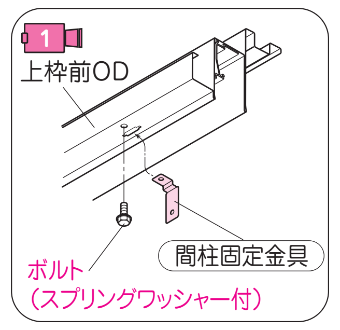
注意
（もやSW）は2本共同じ形状です。一番前には「積雪型」もしくは「豪雪型」のラベルが貼りつけてある（もやSW）を取り付けてください。

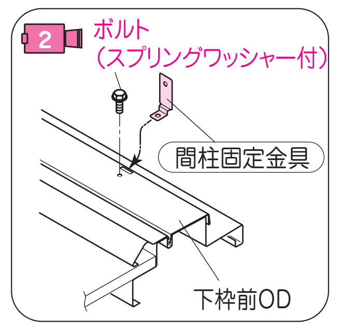
11 間柱前の取付け

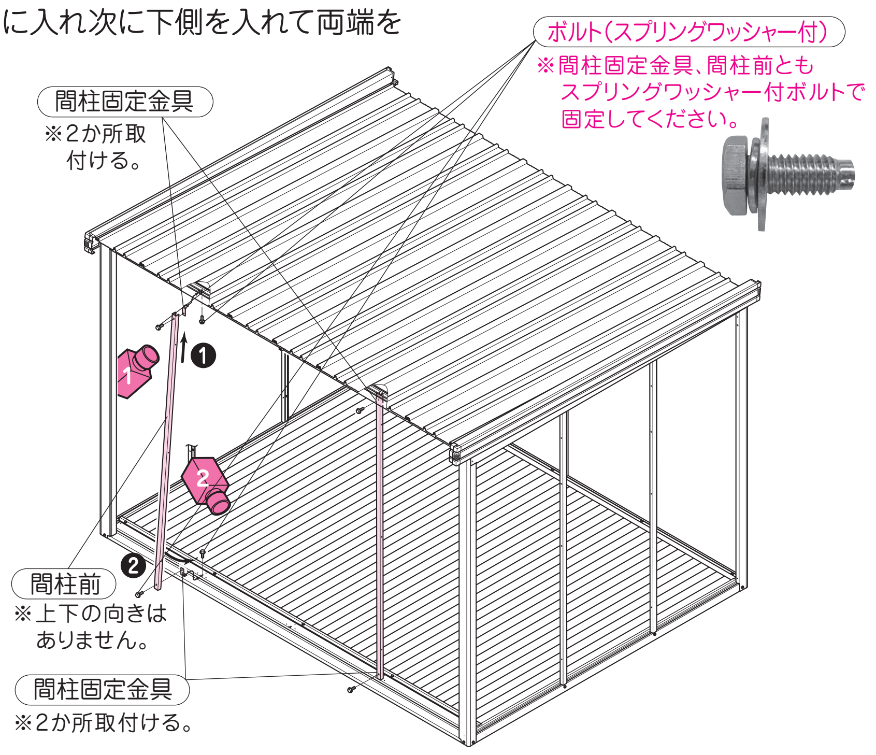
	機種	一般型・積雪型		豪雪型	
使用梱包	Lタイプ	LM5-1403	LM5-0163	LM5-1433	LM5-0163
	Hタイプ	LM5-1406		LM5-1436	
使用ボルト数	ボルト（スプリングワッシャー付）8本				

①（間柱固定金具）を上枠前、下枠前それぞれに差し込みボルト止めします。

②（間柱前）の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。


上枠前OD
ボルト
（スプリングワッシャー付）
間柱固定金具


ボルト
（スプリングワッシャー付）
間柱固定金具
下枠前OD


ボルト（スプリングワッシャー付）
間柱固定金具
※2か所取付ける。
❶
❷
間柱前
※上下の向きはありません。
間柱固定金具
※2か所取付ける。

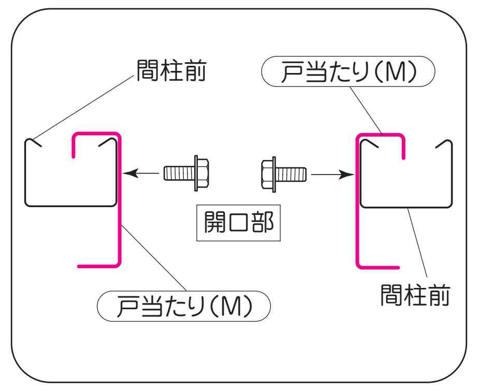
※間柱固定金具、間柱前ともスプリングワッシャー付ボルトで固定してください。

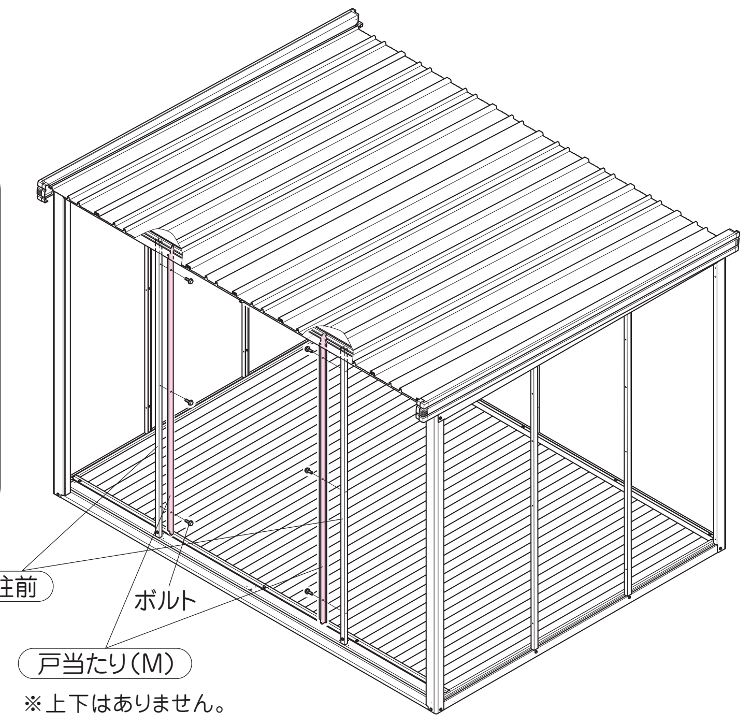
12 戸当たりの取付け

使用梱包	Lタイプ	LM5-0413
	Hタイプ	LM5-0414
使用ボルト数	6本	

①（戸当たり（M））を間柱前に仮止めします。

※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。– 工程17参照


間柱前
戸当たり(M)
開口部
戸当たり(M)
間柱前

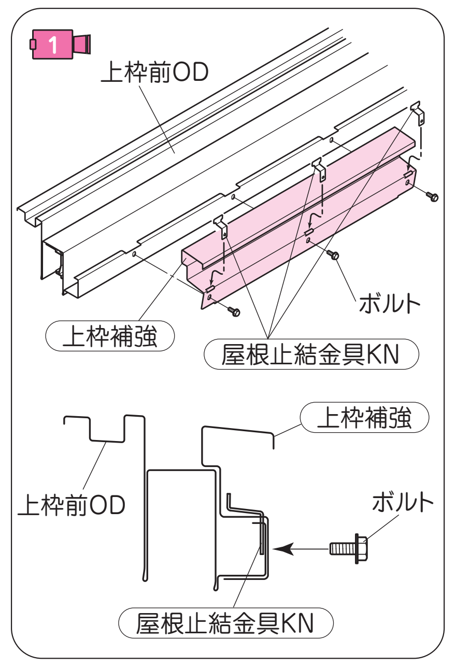

間柱前
ボルト
戸当たり(M)

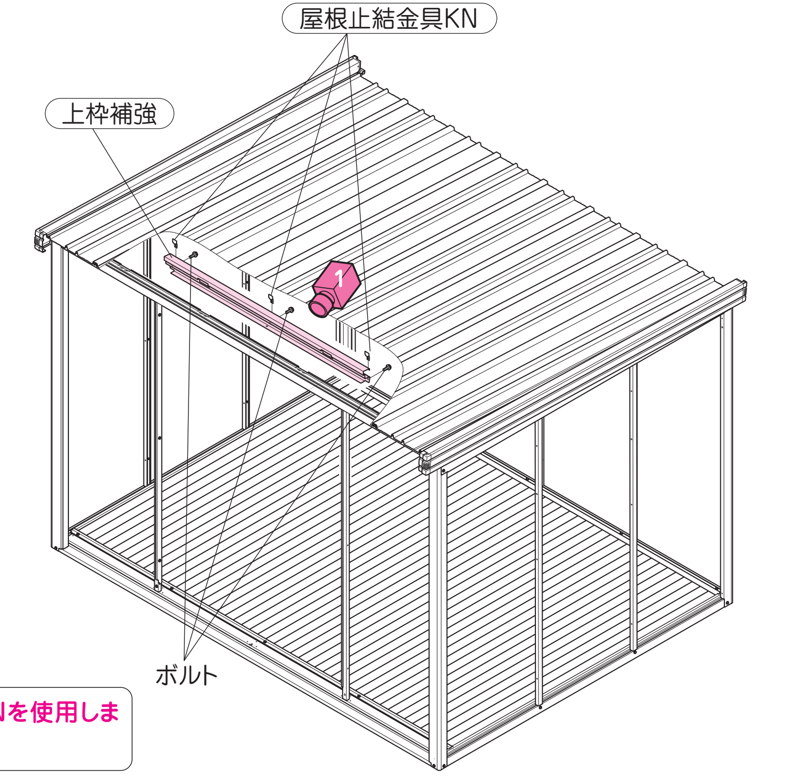
※上下はありません。

13 上枠補強の取付け（積雪型・豪雪型のみ）

使用梱包	LM5-0163
	LM5-3577
使用ボルト数	3本

①（上枠補強）を上枠前ODに（屋根止結金具KN）とボルトで固定します。


上枠前OD
上枠補強
屋根止結金具KN
ボルト
上枠補強
上枠前OD
ボルト
屋根止結金具KN

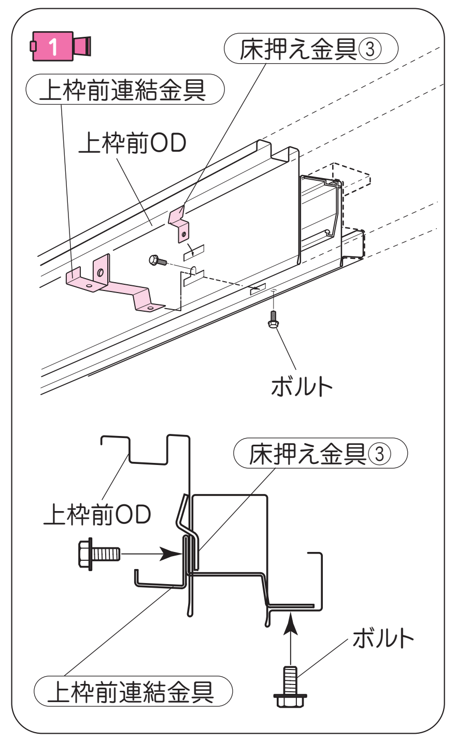

屋根止結金具KN
上枠補強
ボルト

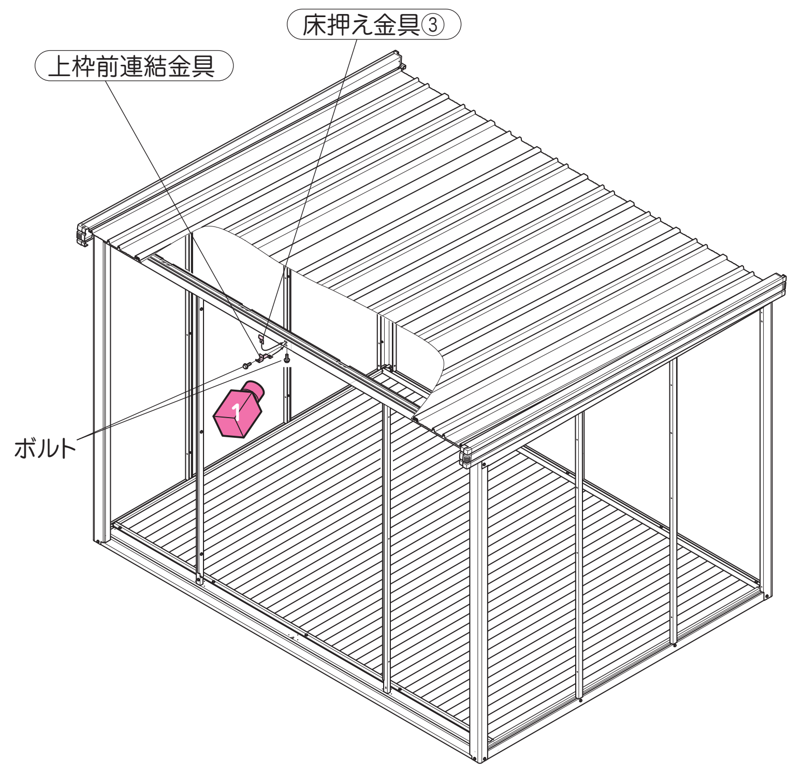
注意
一般型は屋根止結金具KNを使用しませんので3ヶ余ります。

14 上枠前連結金具の取付け

使用梱包	LM5-0163
使用ボルト数	2本

①（上枠前連結金具）を上枠前ODの中央に差し込み、（床押え金具③）とボルトで固定します。


床押え金具③
上枠前連結金具
上枠前OD
ボルト
床押え金具③
上枠前OD
ボルト
上枠前連結金具


床押え金具③
上枠前連結金具
ボルト

15 壁パネル・袖壁の取付け

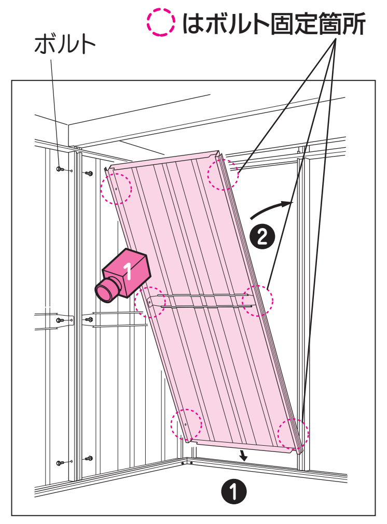
使用梱包	2918	LM5-1004	LM5-1022	LM5-1057
	2918H	LM5-1014	LM5-1032	LM5-1067
	2922	LM5-1003	LM5-1004	LM5-1057
	2922H	LM5-1013	LM5-1014	LM5-1067
使用ボルト数	72本			

①室内から（壁パネル）・（袖壁パネル）をはめ込みます。（下を先に入れて上をはめ込みます。）

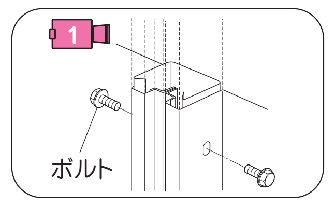
②柱・間柱にボルト止めします。

注意
ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

◌はボルト固定箇所

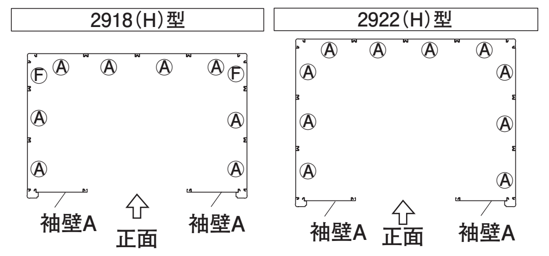


ワンポイント
ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

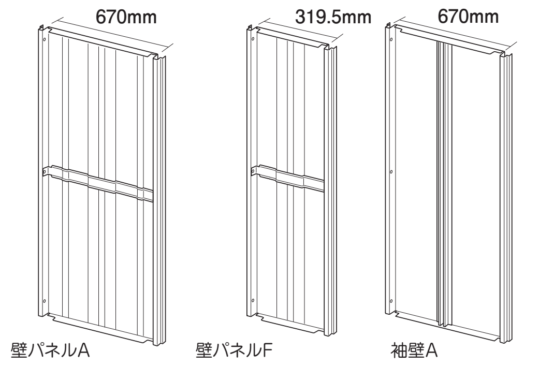


注意
壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの取付位置


2918(H)型
2922(H)型
Ⓐ
Ⓕ
袖壁A
正面
袖壁A

壁パネルの種類


670mm
319.5mm
670mm
壁パネルA
壁パネルF
袖壁A

※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

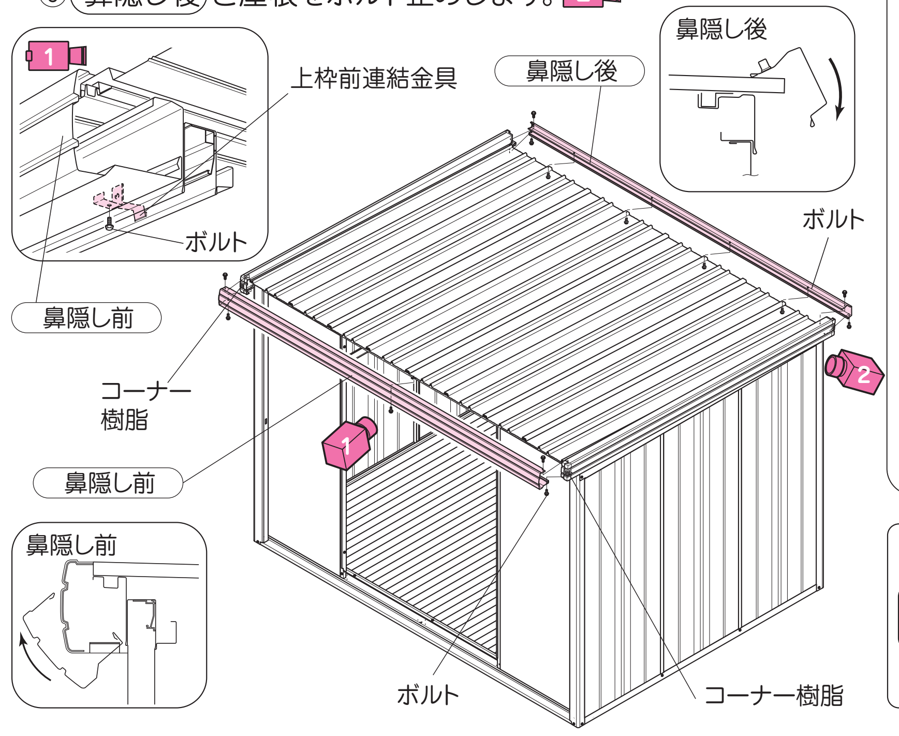
16 鼻隠しの取付け

使用梱包	共通	LM5-1107
使用ボルト数	13本	

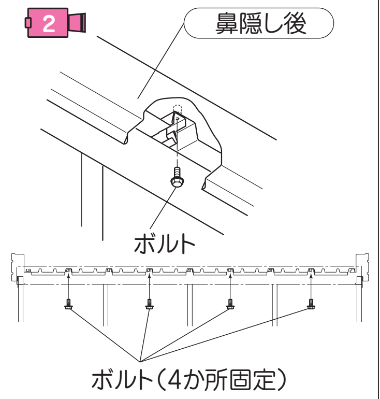
①（鼻隠し前）・（鼻隠し後）を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。

②（鼻隠し前）の中央を上枠前連結金具にボルト止めします。

③（鼻隠し後）と屋根をボルト止めします。


ボルト
上枠前連結金具
鼻隠し後
鼻隠し後
ボルト
鼻隠し前
コーナー樹脂
鼻隠し前
鼻隠し前
ボルト
コーナー樹脂

鼻隠し後と屋根の固定


鼻隠し後
ボルト
ボルト（4か所固定）

壁パネルの中央付近の山が固定位置です。

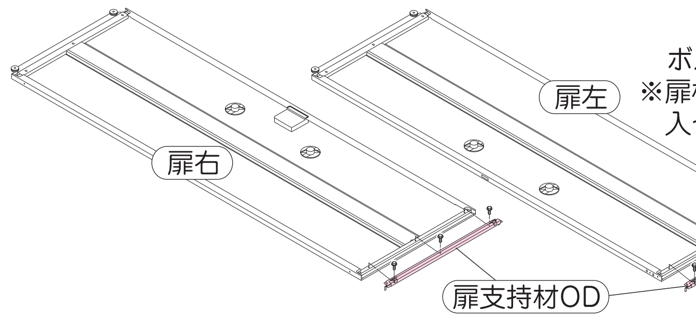
注意
トイ（オプション）を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

17 扉の吊り込み

注意
扉を吊り込む際は下枠前ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。

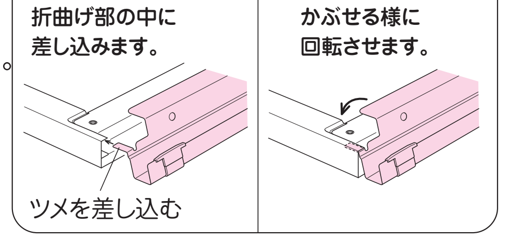
使用梱包	Lタイプ	LM5-1707
	Hタイプ	LM5-1717
使用ボルト数	6本	

①（扉支持材OD）を（扉右）・（扉左）に取付けます。

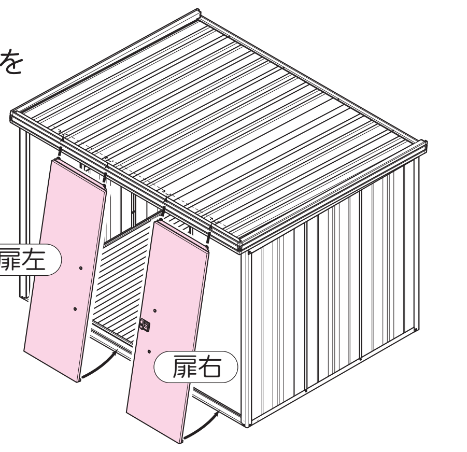

扉左
扉右
ボルト
※扉梱包に入っています。
扉支持材OD

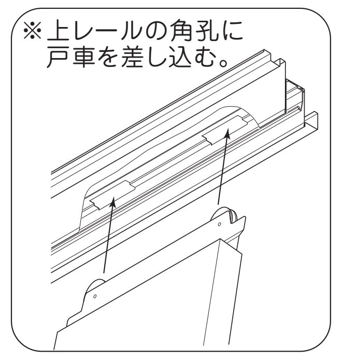
扉支持材（OD）の取付け方

ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。	扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。



②（扉右）・（扉左）を吊り込みます。




※上レールの角孔に戸車を差し込む。

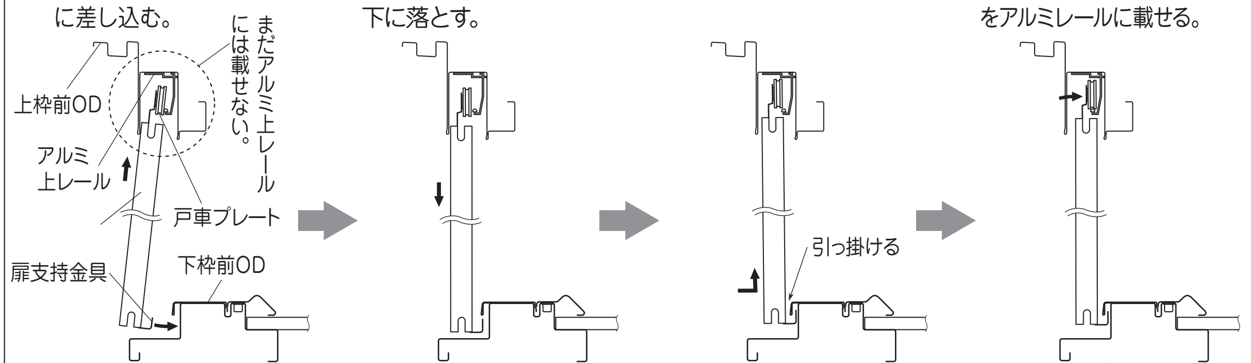
扉の吊り込み手順

①扉の戸車プレートを角孔に差し込む。

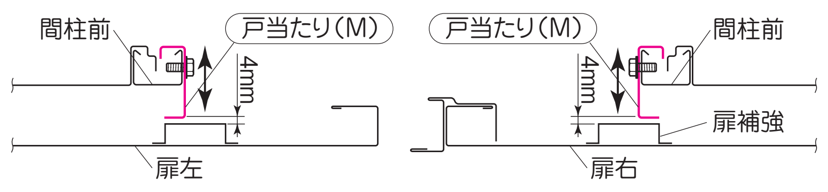
②アルミレールに載せずに下に落とす。

③下部を奥に押し当てる。

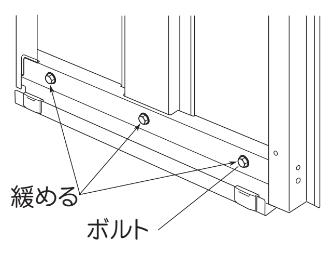
④扉を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。


上枠前OD
まだアルミ上レールには載せない。
アルミ上レール
戸車プレート
扉支持金具
下枠前OD
引っ掛ける

③（戸当たり（M））と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で（戸当たり（M））を固定してください。


間柱前
戸当たり(M)
4mm
扉左
戸当たり(M)
間柱前
4mm
扉補強
扉右

扉が吊り込みにくい場合は、
扉支持材のボルト（3か所）を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

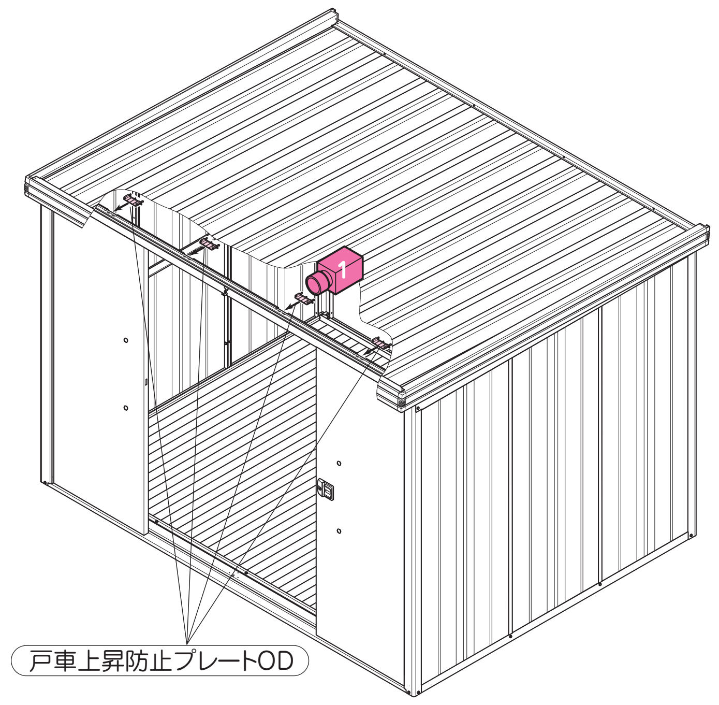


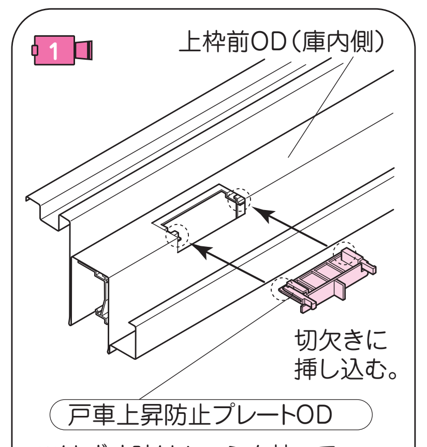
ワンポイント
扉フランジと戸当たり（M）が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり（M）を少し屋外側にずらして固定してください。

18 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	Lタイプ	LM5-1707
	Hタイプ	LM5-1717
使用ボルト数	0本	

①（戸車上昇防止プレートOD）を上枠前ODに取付けます。（4か所）


戸車上昇防止プレートOD


上枠前OD（庫内側）
切欠きに挿し込む。
戸車上昇防止プレートOD

※はずす時はツマミを持って手前に引きます。

注意
戸車上昇防止プレートODは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートODを取外してください。

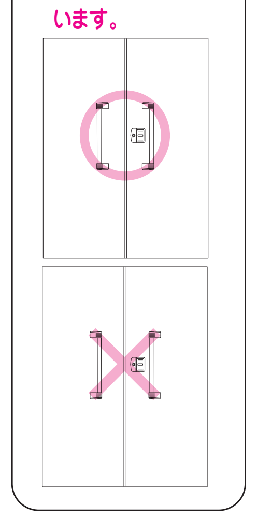
19 取手の取付け

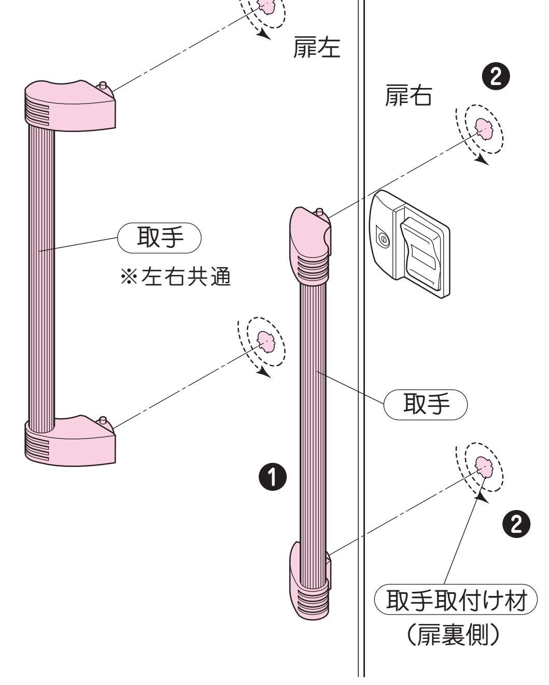
使用梱包	Lタイプ	LM5-1707
	Hタイプ	LM5-1717
使用ボルト数	0本	

①（取手）を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。

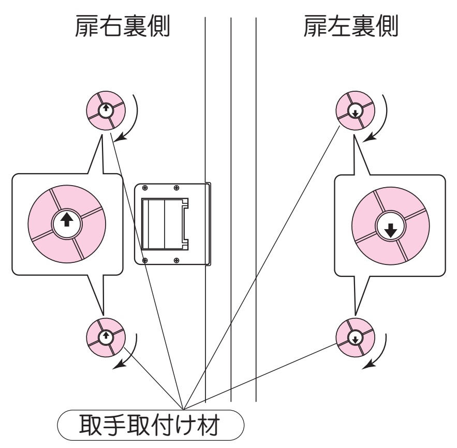
②扉裏の（取手取付け材）を回して取手を固定します。

注意
取手を取付ける向きに注意してください。
※逆向きには取付かないようになっています。




扉左
扉右
❷
取手
※左右共通
取手
❶
❷
取手取付け材
（扉裏側）

②取手の固定

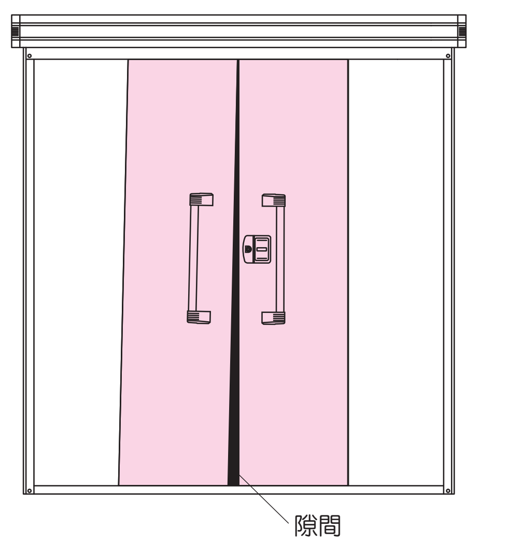

扉右裏側
扉左裏側
取手取付け材

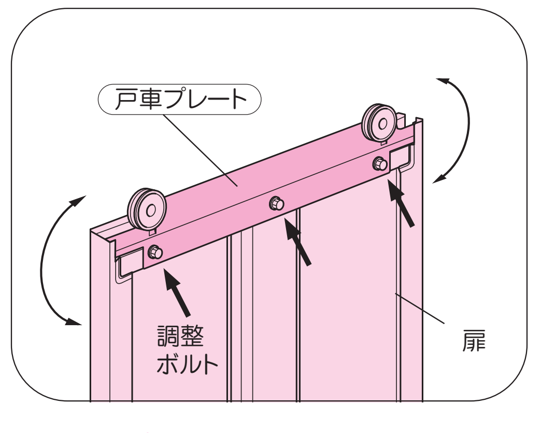
矢印が図の位置に来るまで回転させてください。
（時計まわりに約20°回転）

20 扉の建付け調整

①扉を閉めて扉右と扉左の隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、
戸車を固定しているボルト（調整ボルト）をゆるめて調整します。




戸車プレート
調整
ボルト
扉

注意
建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

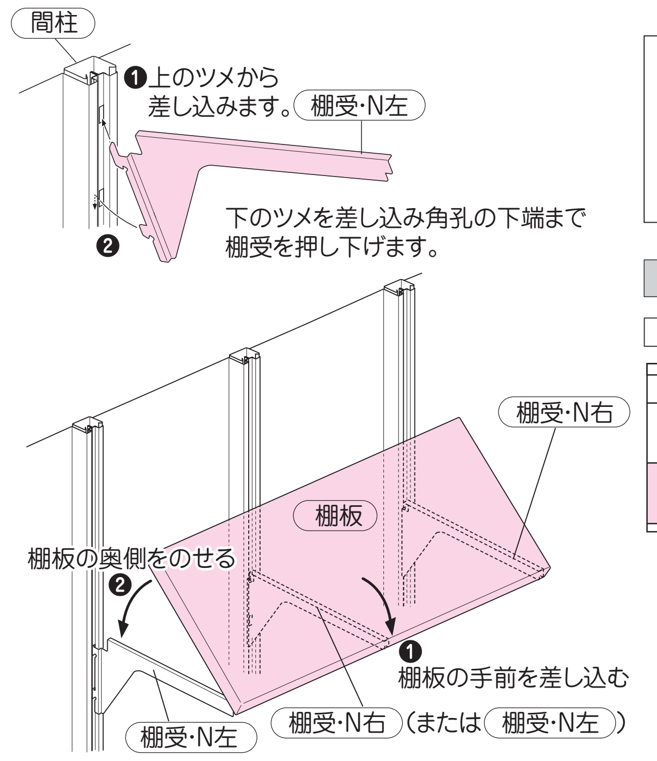
ワンポイント
ボルトをゆるめて庫内から扉を閉めて扉同士が沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

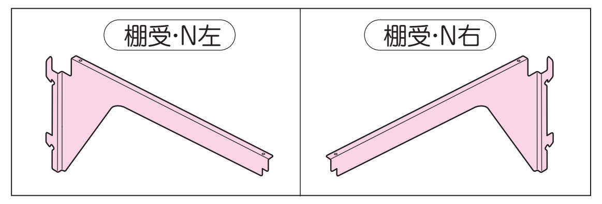
21 棚板の取付け

使用梱包	共通	LM5-1903
使用ボルト数	0本	

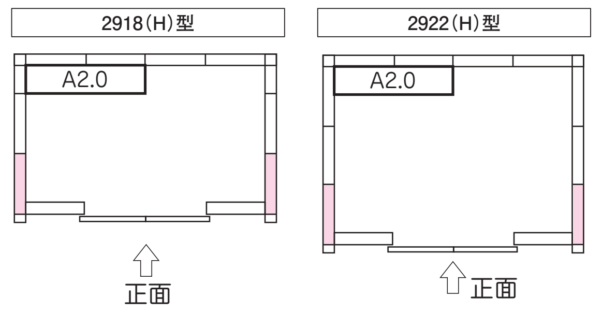
①（棚受）を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

②（棚板）を棚受の先端に差し込んでから取付けます。（標準で棚板A2.0が2枚付いています。）


間柱
❶上のツメから差し込みます。
棚受・N左
❷
下のツメを差し込み角孔の下端まで棚受を押し下げます。
棚受・N右
棚板
棚板の奥側をのせる
❷
❶
棚板の手前を差し込む
棚受・N左
棚受・N右（または棚受・N左）



棚板取付け例


2918(H)型
2922(H)型
A2.0
A2.0
正面
正面

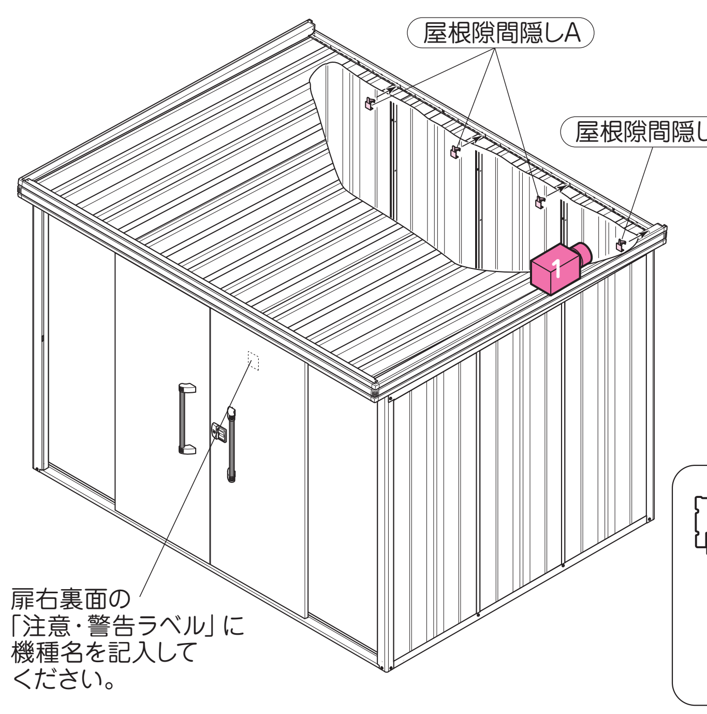
注意
▨の壁パネルには棚受は取付けできません。

22 その他部品の取付け

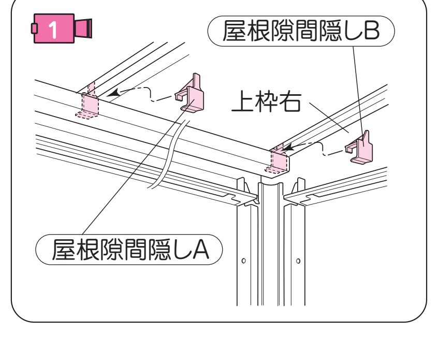
使用梱包	共通	LM5-0163
使用ボルト数	0本	

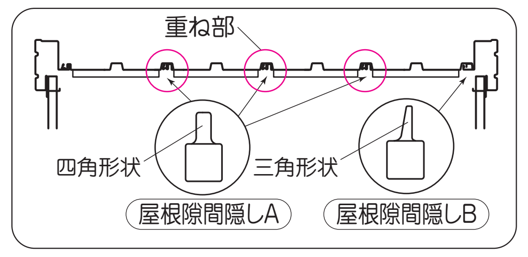
①扉裏面の注意・警告ラベルに〝機種名〟を記入します。

②（屋根隙間隠しA）を上枠後の屋根の重ね部に、（屋根隙間隠しB）を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。


屋根隙間隠しA
屋根隙間隠しB

扉右裏面の「注意・警告ラベル」に機種名を記入してください。


屋根隙間隠しB
上枠右
屋根隙間隠しA


重ね部
四角形状
三角形状
屋根隙間隠しA
屋根隙間隠しB

●錠操作方法について 取扱い説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。 チェック欄

①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。 □
②鍵が正常に作動するかご確認ください。 □
③戸車上昇防止プレートODが取りついているかご確認ください。 □
④棚板の配置確認をしてください。 □
⑤機種名が記入されたか確認してください。（扉裏面の注意・警告ラベル） □
⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。 □

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートODを外して扉を吊り込みなおしてください。（工程17 18）
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。（工程19）
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり（M）を調整してください。（工程17）

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(2918(H)・2922(H))
ヨドコウ
淀川製鋼
(2025年A制作)